

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業				
事業名	ディズニーライブ！「ミッキーと魔法の物語」						
目的・内容	こども達に人気の高いディズニーミュージカルを開催することで、親と子が共に文化芸術に親しむ機会を提供し、舞台芸術の素晴らしさを感じてもらうとともに、次世代を担う鑑賞者開発に繋げる。 【使命】子どもの文化芸術活動の推進 【事業の柱】親と子が文化芸術に親しむことができる鑑賞機会の提供						
開催日時	平成21年4月22日(水) (昼の部)開演14:00 (夜の部)開演18:00						
会場	とりぎん文化会館 梨花ホール						
入場料・参加費 (友の会・団体)	S席 5,000円 (4,500円)	A席 4,500円 (4,000円)					
集客状況	入場者数	3,092名	設定席数	3,240席	集客率	95.4%	
事業費状況	予算額	収入	108,000円	支出	850,000円	収支比率	12.7%
	決算額	収入	127,275円	支出	378,720円	収支比率	33.6%
来場者アンケート (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・物語のアニメに忠実な作りになっていて、とても楽しめました。 ・ディズニーは大好きなので、楽しみにしていました。音楽も踊りも素敵でした。とてもきれいで夢を見せてもらいました。舞台も迫力がありとても良かったです。 ・3階席でしたが、すごく良かったです。もっと早く知っておけば良かったと思いました。 ・子ども的人数が多いとチケット代がかなりかかるので、もう少し安くしてほしい。子ども対象のこのようなイベントを増やしてほしい。 ・駐車場が満車で市役所に停める事になり、子供連れでバタバタしたので、きちんと置けるようにしてほしい。 ・飲食禁止と放送されていましたが、ポップコーンが売られており、食べるなど言う方が無理なのではないかと思いました。 						
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼公演は平日の昼間開催ということもあり集客が心配されたが、昼公演と夜公演においても、ディズニーの集客の強さにより、高い入場率が得られた。 ・20～40代の客層が多く、今後の事業の鑑賞者となり得る層を獲得できた。 ・共催によって、事業費の節減ができた上、当日運営等の役割分担、広報に関する強力な体制の確保ができ、双方の共催のメリットが十分に発揮できた。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チケット代金に、大人料金、子ども料金の設定がなく、一律だったため、高いと感じる声が約3割程度あった。一家族当たりのチケット料金を考慮した設定も検討が必要。 ・親子向け公演ということで、通常より多くの客席内での飲食が心配された。アナウンスも行い、スタッフも対応したが、来場者への客席内飲食禁止は徹底できなかった。観客マナーの向上を行う必要がある。 						
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビCMの最大限の活用と、『ディズニー』ブランドの力がともに大きかった。20代～40代の若年親子が反応したことも推進にプラスした。 ・親子向け公演で、これだけの顧客を集めたのは成功だったと思う。 ・共催相手が日本海テレビで広報力は抜群であった。今後は、財団のみの公演であっても参考にすべきである。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取には、こんなに「親子」がいたのかと驚くほどの動員。これが他の催しにどう導けるかが今後の課題。 ・成人した場合の観客動員に結びつくのかは疑問である。率直に言えば、観ている時は楽しくても、あとに残るものは少ない。これがダイジェストの欠点である。 						
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・親子向け公演ではあるが、対象を固定的に考えないで青年層、男性にも広報する。 ・共催による双方のメリットを再認識し、今後の事業を選定する。 ・対応係員の接遇技能の向上に努める。 						